

印刷制御

業務アプリから手元のプリンターへ印刷を許可するか、禁止するかの制御をすることができます。

ファイル転送

業務アプリから社外へのファイル転送を禁止するか、許可するかの制御をすることができます。

クリップボード制御

業務アプリと外部デバイス間のクリップボード操作を禁止するか許可するかの制御をすることができます。

操作ログ(オプション)

リモートパソコンのファイル操作履歴、アプリケーションの起動やアクティブ時間などのログを取得することができます。

ソリューションの特長

1 テレワーク環境が簡単に構築可能です 2 利用時間の制限が可能です

Microsoft Azure専用テンプレートによりサーバーの構築が最短で可能となり、直ぐに社外からの利用を開始することができます。また、クラウド上に基盤がある為に最初は少数ユーザーからスタートさせていき、徐々に人数を増やしていく事が可能です。さらにクラウド基盤からオンプレミス環境へ移行する事もできます。

クラウド上にある社外からのアクセスポイントに対して利用時間外の接続を制限する事が可能です。アクセス時間に制限を設ける事で過重労働の抑止にもつながります。

3 Parallels製品は同時接続数ライセンス 4 VPNサーバー機能は標準で用意

アプリケーションの画面配信をするソフトウェアのRemote Application Serverは、同時接続数ライセンスの為にライセンス費用を低減することができます。

クラウド基盤にVPNサーバー機能が用意されていますので、企業側には対応するルーターを設置するだけで、クラウドと企業内ネットワークの接続が可能です。

5 クラウド基盤の費用は利用分だけ 6 テレワーク対象デバイス

クラウド基盤の費用は利用した分だけとなります。利用の課金単位は分単位の為に、社外からのアクセスを利用をされない時間帯にサーバーを完全停止する事で、費用を低減することもできます。

Windowsパソコン、Macパソコンの他、iPadやAndroid、ラズベリーパイ、Chromebookが利用可能です。また、テレワーク用のパソコン環境についてBYOD利用する際には、USBシンククライアント(個別対応)を利用することもできます。リモート側は、Windowsクライアントになります。

連携オプション機能

操作ログ取得

MylogStar

テレワーク環境で利用されるリモートパソコンの起動と終了、ファイル操作履歴、アプリケーションの起動と終了やアクティブ時間など、詳細な操作ログを取得することができます。

多要素認証機能

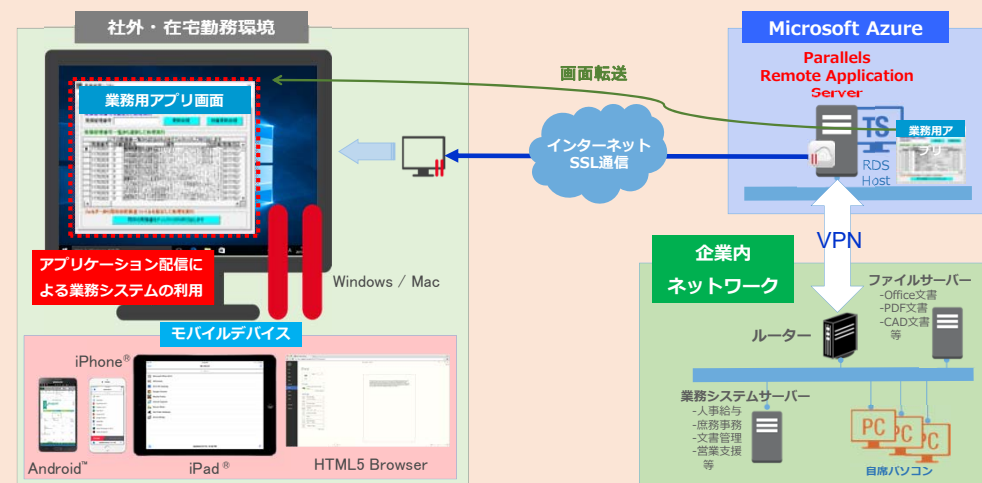
Swivel Cloud

社外から接続する際にIDとパスワード以外にモバイルデバイスによるワンタイムパスワードを利用した多要素認証機能を追加することができます。

Telework as a Service
on Azure

「社外にあるパソコンやモバイルデバイスから社内の業務システム利用」を短期間に低コストからスタートできるクラウドベースのソリューション

在宅勤務や出張先など、社外にあるパソコンやモバイルデバイスから社内の業務システムを「社内で作業している時」と同様に利用することができます。社外にあるパソコンやモバイルデバイスの内部には、社内データが残らない仕組みとなっていますので、情報漏洩の危険性が低減されます。



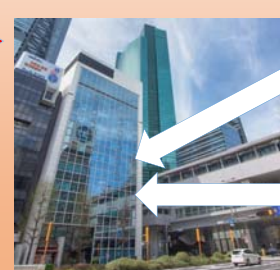
導入前の状態

導入前は、顧客先から会社に戻り日報を入力したり顧客向け資料を作成するなど効率の低さや残業の増加がありました。また、在宅勤務の環境が無く、有能な社員の能力を最大限に活用できていませんでした。



導入後の結果

導入後は、顧客先から次の顧客先への移動時間に日報を入力するなど仕事の効率を高める事ができます。また、在宅勤務の環境としても利用する事ができ有能な社員の能力を最大限に活用できます。



⚠ カタログの内容は予告無く変更する場合があります事をご承知願います。

ソリューション提供元

株式会社 日本ビジネスデータセンター
プロセッシング

〒658-0032 神戸市中央区伊藤町119番地 三井生命神戸三宮ビル10階
Phone: 078-332-0871 E-Mail: sys-sales@nihon-data.jp

Microsoft Partner
Gold Application Development
Gold Windows and Devices
Gold Data Platform
Gold Datacenter
Silver Small and Midmarket Cloud Solutions



お問い合わせ先はこちら

テレワーク環境を「安全」に「低コスト」でスタートできます

★これまでは・・・

テレワークを実施する際に最低限必要となるコミュニケーションツール(メール,WEB会議,チャットなど)の導入は比較的容易に準備をすることができます。しかし、パソコンでファイルサーバーにあるドキュメントを編集したり、業務アプリケーションを利用して業務をするなど、一般的な社内パソコン業務をテレワークで実現する為には、その準備に多数の課題があります。例えば、

- ①社外から社内に安全にアクセスする為の機器の選定、調達と設定作業
- ②社内アプリケーションや社内パソコンのデスクトップを社外に公開する為の専用ソフトウェアの選定、調達と構築作業

などです。また、自社には「**どのようなテレワーキングスタイルがマッチしているか?**」も慎重に検討しながらテレワーク環境を進める必要があります。安易にテレワーク環境を構築して業務を開始しても、**実状とマッチせずに「使い勝手が悪い」「使えない」**などの問題が出てくる事が**多くあります**。本来であれば

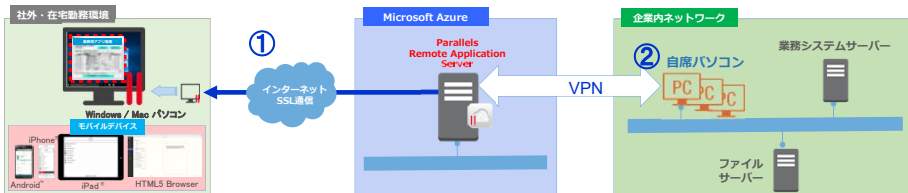
少数ユーザーにテレワーク環境を提供し、利用時の課題を確認しながら適用範囲を広げる

事ができるのが理想ですが、これまでの方法では、試行をしながらテレワークを段階的に広げていく事が難しかったのです。

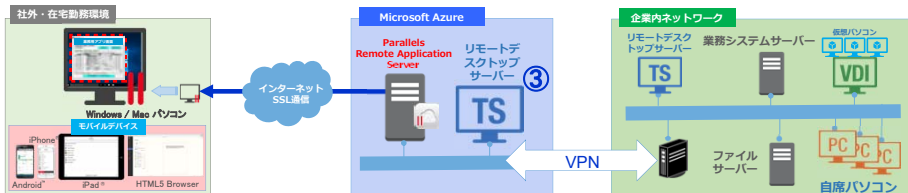
★当社が提供するソリューションを使えば、これらの問題が解決します！

当社のソリューションは、**クラウドの利点を最大限に活用したソリューション**となりますので、外部からの接続用機器の準備は不要です。また、最初から新たなサーバーを準備する必要がなく、社外からアクセスする為の準備が簡単にできます。例えば、導入当初はOffice365などのSaaS利用からはじめ、その後、社内の自席にあるパソコンへの接続によるテレワーク業務を試行した後に、**テレワークにおける課題を確認しながら、人数の増加とともに本格的な環境(リモートデスクトップサーバーやVDI)**を準備して、**テレワークの業務範囲を拡大する事が可能となります**。

- ①社外からの接続環境はクラウド基盤にありますので機器の選定や調達が不要となります。
- ②クラウド基盤と企業内ネットワークをVPN(暗号化通信)で接続する事で、社内の自席にあるパソコンのデスクトップ環境に外部からアクセスする事が可能となります。



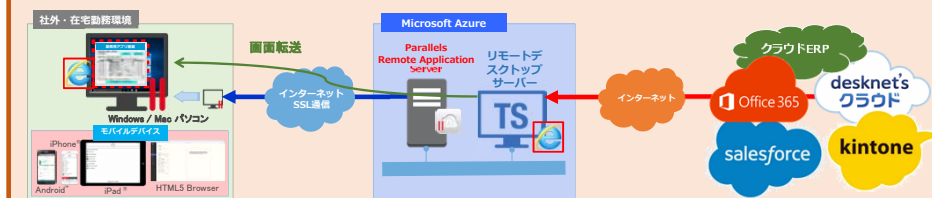
- ③クラウド基盤上のリモートデスクトップサーバーに必要なアプリケーションを追加する事で、社外から業務アプリケーションを利用して社内業務をする事が出来ます。



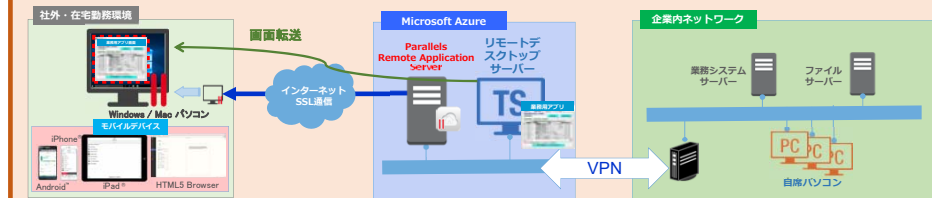
段階的にテレワーク環境の拡充を進める事ができる為に、実際の使用感や適性を確かめながら自社にとって最適なテレワーク環境を低価格で整備する事が可能となります。

★クラウド環境の為に、テレワーク環境を柔軟に構成する事ができます。

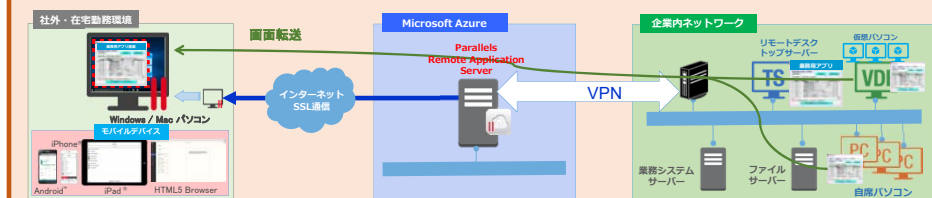
SaaSアプリやWEB系アプリのみを利用する場合の構成



クラウド基盤上のリモートデスクトップサーバーを利用する場合の構成



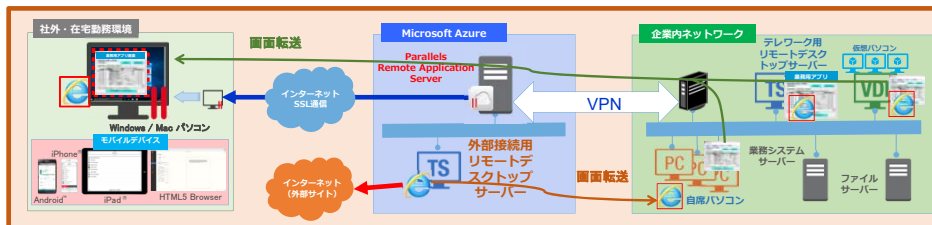
企業内のリモートデスクトップサーバーやVDI, 社内パソコンを利用する場合の構成



★その他

インターネット分離との併用も可能

クラウド基盤上のテレワーク環境を利用する事で業務システムとWEBブラウザをネットワーク的に分離させてマルウェアの脅威を低減するインターネット分離としても利用する事ができます。



テレワーク側に保存するファイルの暗号化も可能 (他ソリューション連携)

業務上テレワーク側のパソコンに業務ファイルを保存して利用しなければならない場合には、別ソリューションと連携する事でテレワーク側のファイル暗号化も可能となります。